QUIETCOMFORT EARBUDS II

安全およびセキュリティ上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

この製品は、すべての適用される電磁両立規則2016およびその他すべての適用される英国の規制に準拠しています。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

Bose Corporationはここに、この製品が無線機器規則2017の必須要件およびその他すべての適用される英国の規制に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

安全上の留意項目

お手入れは乾いた布を使用して行ってください。

必ず指定された付属品、あるいはアクセサリーのみをご使用ください。

修理が必要な際には、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

警告/注意

- 誤って飲み込まないように、イヤホンはお子様やペットが触れない場所に置いてください。イヤホンにはリチウムイオンバッテリーが内蔵されているため、飲み込むと事故につながる恐れがあります。飲み込んでしまった場合は、すぐに医師の診断を受けてください。イヤホンを使用していないときは、充電ケースに入れて蓋を閉め、お子様やペットの手の届かないところに保管してください。
- イヤホンは小さなお子様には使わせないでください。
- 大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に長時間にわたるイヤホンのご使用の際は、大きな音量はお避けください。
  - イヤホンを使用する場合は、耳に負担をかけないように適度な音量に調節してください。
  - 再生機器の音量を下げてからイヤホンを耳に装着し、適度な音量になるまで少しずつ音量を上げてください。
- 運転中の通話にイヤホンを使用する場合は、携帯電話とヘッドホンの使用に関する国または地域の法令を確認し、これを遵守してください。一部の国または地域の法令では、運転中の製品の使用について、片耳だけのイヤホンの使用など、特定の制限事項が適用される場合があります。車両を運転しているときは、イヤホンを使用して音楽を聴いたりしないでください。
- 車道、建設現場、線路などの付近を歩いているときなど、外部音が聞こえないことによって自身や他の人に危険が生じる可能性がある場合は、ノイズキャンセリング機能付きイヤホンを使用しないでください。
  - アラームや警告音などの周囲の音が聞こえるように、イヤホンの電源をオフにするか、ノイズキャンセリング機能をオフにして音量を下げてイヤホンをお使いください。
  - イヤホンを使用しているときは、ノイズキャンセリング機能が最も弱い状態でも確認や注意喚起の音が普段と異なった感じで聞こえることがありますので、ご注意ください。

- お使いの製品では、ノイズキャンセリング機能に関連して短い通知音が発生することがあります。ただし、異常に大きなノイズが発生した場合は、イヤホンの電源を切り、Boseカスタマーサービスにご連絡ください。
- イヤホンを長時間水に浸したり、水泳や水上スキー、サーフィンなどのウォータースポーツで使用したりしないでください。
- 熱を感じた場合、または音声が聞こえなくなった場合には、すぐにイヤホンを外してください。

のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。

この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- 火災や感電を避けるため、雨や水滴、飛沫、湿気などにさらされるような場所で本製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を本製品の上や近くに置かないでください。
- 許可なく製品を改造しないでください。
- 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- 付属のイヤーチップを取り付けずにイヤホンを使用しないでください。
- この製品には、法令(UL、CSA、VDE、CCCなど)に準拠したLPS電源アダプターのみをお使いください。
- 付属のバッテリーは、取り扱いを誤った場合、火災や化学火傷の原因になる恐れがあります。
- バッテリーが液漏れしている場合は、漏れた液に触れたり目に入れたりしないでください。液が身体に付着した場合は、医師の診断を受けてください。
- バッテリーが含まれる製品を直射日光や炎など、過度な熱にさらさないでください。
- 充電する前に、イヤホンと充電ケースから汗を拭き取ってください。
- IPX4は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能が低下する場合があります。
- 製品内部の部品から危険なレーザーが放出されるのを防ぐため、指示に従って本製品を使用してください。イヤホンの調整または修理は、必ず資格を持つサービス担当者にお任せください。
- 暖炉、ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
- Laser Notice 56 (2019年5月8日)に記載されているIEC 60825-1 Ed.3への準拠を除き、21 CFR 1040.10および1040.11に準拠しています。

このイヤホンは、EN / IEC 60825-1:2014に基づき、クラス1レーザー製品に分類されています。

注: 本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示どおりに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていると確認された場合、次の1つ あるいはいくつかの方法で対処を試みることをおすすめします。

- 受信機やアンテナの向きや位置を変える。
- 本機と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ イノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

このデバイスは、FCCおよびカナダ イノベーション・科学経済開発省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

FCC ID: A94911L / FCC ID: A94911R

KCC: R-R-Bos-911L / KCC: R-R-Bos-911R

IC: 3232A-911L / IC: 3232A-911R

ケースの型番: 435911

右イヤホンの型番: 911R

左イヤホンの型番: 911L

このシステムのイヤホンは、電波法に定められた規定に従って認定されています。

R 020-220121 (L)
020-220120 (R)

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

ヨーロッパ向け:

運用周波数帯: 2400 ～ 2483.5 MHz

最大送信出力20 dBm EIRP未満

比吸収率(SAR)に関する情報

イヤホン	測定値 1-g SAR W/kg	測定値 10-g SAR W/kg
左	0.303	0.126
右	0.24	0.101

この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

低電力無線デバイスに関する技術規則

会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまでただちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信管理法に基づいて運用される無線通信を意味します。低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。

この製品からリチウムイオンバッテリーを取り外さないでください。取り外しはサービス担当者にお任せください。

廃電池請回收

使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。

Li-ion

NOM NYCE

R33807 RoHS

中国における有害物質の使用制限表

有毒/有害物質または成分の名称および含有量						
	有毒/有害物質および成分					
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (CR(VI))	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	X	0	0	0	0	0
金属パーツ	X	0	0	0	0	0
プラスチックパーツ	0	0	0	0	0	0
スピーカー	X	0	0	0	0	0
ケーブル	X	0	0	0	0	0
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。 0: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。 X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。						5

台湾における有害物質の使用制限表

機器名: 充電ケース、型式: 435911						
	制限される物質および化学記号					
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr+6)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	○	○	○	○	○
金属パーツ	-	○	○	○	○	○
プラスチックパーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	-	○	○	○	○	○
ケーブル	-	○	○	○	○	○
注1:「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。 **注2:**「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。						

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「2」は2012年または2022年です。

製造場所: シリアル番号の7桁目の数字は製造場所を表します。

中国における輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Level 6, Tower D, No. 2337 Gudai Rd. Minhang District, Shanghai 201100

EUにおける輸入元: Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands

メキシコにおける輸入元: Bose de México S. de R.L. de C.V., Avenida Prado Sur #150, Piso 2, Interior 222 y 223, Colonia Lomas de Chapultepec V Sección, Miguel Hidalgo, Ciudad de México, C.P. 11000 電話番号: +5255 (5202) 3545

台湾における輸入元: Bose Limited Taiwan Branch (H.K.), 9F., No. 10, Sec.3, Minsheng E. Road, Zhongshan Dist. Taipei City 10480、台湾 電話番号: +886-2-2514 7676

英国における輸入元: Bose Limited, Bose House, Quayside Chatham Maritime, Chatham, Kent, ME4 4QZ, United Kingdom

入力定格: 5V ⎓ 1.2A

出力電圧: 5VDC

出力電流: 0.16A x 2

出力容量: 680mAh

IPXX保護等級: IPX4 (イヤホン)

CMIIT IDはカートンにあります。

製品情報の控え

イヤホンの日付コードはイヤホンのバンドの下に記載されています。充電ケースのシリアル番号は、充電ケースのイヤホンを収納するくぼみの間に記載されています。モデル番号は、充電ケースの蓋の内側に記載されています。

シリアル番号: _____

モデル番号: 435911

この取扱説明書と共に、ご購入時の領収書を保管することをおすすめします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト(worldwide.Bose.com/ProductRegistration)から簡単に行えます。

セキュリティ情報

この製品は、Boseから自動セキュリティアップデートを受信することができます。自動セキュリティアップデートを受信するには、Bose Musicアプリで製品のセットアップを完了し、製品をインターネットに接続する必要があります。**セットアップを完了しない場合は、Boseが公開するセキュリティアップデートをお客様ご自身でインストールする必要があります。**

Apple、Appleのロゴ、iPad、iPhone、およびiPodはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき日本で使用されています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

Made for Appleバッジの使用は、アクセサリーがバッジに記載されているApple製品への接続専用に設計され、Apple社が定める性能基準に適合しているとデベロッパによって認定されていることを示します。Apple社は、本製品の動作や、安全性および規制基準の適合性について、一切の責任を負いません。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

GoogleおよびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。

USB Type-C®およびUSB-C®は、USB Implementers Forumの登録商標です。

Bose、Bose Music、Bose Musicのロゴ、ActiveSense、およびQuietComfortは、Bose Corporationの商標です。

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639

©2022 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

The following license disclosures apply to certain third-party software packages used as components in the product.

Package: FreeRTOS

Copyright © Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved. The FreeRTOS package is subject to the license terms reprinted below:

MIT License

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Package: Nanopb

Copyright © 2011 Petteri Aimonen <jpa at nanopb.mail.kapsi.fi>. The Nanopb package is subject to the license terms reprinted below:

Zlib license

© 2011 Petteri Aimonen <jpa at nanopb.mail.kapsi.fi>

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Package: Mbed TLS 2.16.1

© ARM Limited. All rights reserved. The Mbed TLS package is subject to the license terms reprinted below:

Apache License

Version 2.0, January 2004

http://www.apache.org/licenses/

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

   "License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

   "Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

   "Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

   "You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
   a. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
   b. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
   c. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
   d. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License. You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different

license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

©2022 Bose Corporation

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at: http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

内容物の確認
内容物 13

BOSE MUSICアプリのセットアップ
Bose Musicアプリをダウンロードする 14
イヤホンを既存のアカウントに追加する 14

防水性能 15

装着方法
イヤホンを装着する 16
フィット状態をチェックする 17
　イヤーチップ 17
　固定バンド 18
別のサイズを試す 19
　イヤーチップ 19
　固定バンド 19
イヤーチップを交換する 20
固定バンドを交換する 21

電源
電源オン 23
電源オフ 24
スタンバイ 24

タッチコントロール
タッチセンサーの場所 25
メディアの再生と音量調節 25
通話 26
　着信の通知 27
ノイズキャンセリング 27
モバイル機器の音声コントロール 27

タッチコントロールのカスタマイズ

ショートカット 28
ショートカットを使用する 28
ショートカットを変更する、無効にする 28

装着検出

自動再生/停止 29
着信自動応答 29
ノイズキャンセリングの自動オフ機能 29

ノイズキャンセリング

ノイズキャンセリングモード 30
ActiveSense™ Awareモード 30
ノイズキャンセリングモードを切り替える 31
通話中のノイズキャンセリング機能について 31
ノイズキャンセリング機能のみを使用する 31

バッテリー

イヤホンを充電する 32
充電ケースを充電する 33
イヤホンの充電状態を確認する 34
イヤホンの使用中 34
イヤホンの充電中 34
充電ケースのバッテリー残量を確認する 35
充電時間 35

イヤホンと充電ケースの状態

イヤホンのステータスインジケーター 36
Bluetooth® の状態 36
バッテリー、アップデート、エラーの状態 36
充電ケースのステータスインジケーター 37
バッテリー、アップデート、エラーの状態 37

BLUETOOTH 接続

Bose Musicアプリを使用して接続する 38
モバイル機器の*Bluetooth*メニューを使用して接続する 38
モバイル機器の接続を解除する 39
モバイル機器を再接続する 39
イヤホンのデバイスリストを消去する 40

補足事項

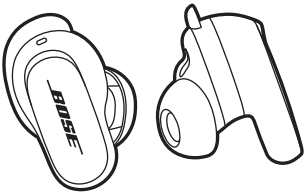
イヤホンを保管する 41
イヤホンと充電ケースのお手入れ 41
交換部品とアクセサリー 41
保証 41
イヤホンをアップデートする 42
充電ケースをアップデートする 42
イヤホンの日付コードを確認する 42
充電ケースのシリアル番号を確認する 42

トラブルシューティング

最初にお試しいただくこと 43
その他の対処方法 43
イヤホンと充電ケースを再起動する 51

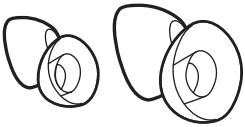
内容物

下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



Bose QuietComfort Earbuds II

充電ケース

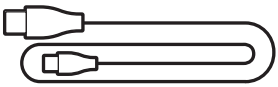


イヤーチップ(SサイズおよびLサイズ)

注: Mサイズのイヤーチップはイヤホンに取り付けられています。イヤーチップのサイズを確認する方法は、19ページをご覧ください。

固定バンド(サイズ2および3)

注: サイズ1のバンドはイヤホンに取り付けられています。バンドのサイズを確認する方法は、19ページをご覧ください。



USB Type-C® - USB-Aケーブル

注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、使用せず、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。

次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/QCEii

Bose Musicアプリを使用すると、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器からイヤホンのセットアップや操作を行うことができます。

このアプリを使用して、イヤホンのフィット状態の確認、*Bluetooth*接続の管理、イヤホンの設定の管理、音量の調節、音声ガイドの言語の選択、アップデートと新機能の適用を行うことができます。

注: 別のボーズ製品用のBoseアカウントを既に作成してある場合は、「イヤホンを既存のアカウントに追加する」をご覧ください。

BOSE MUSICアプリをダウンロードする

1. モバイル機器でBose Musicアプリをダウンロードします。

   注: 中国本土にお住まいの方は、Bose音乐アプリをダウンロードしてください。

Download on the App Store　GET IT ON Google Play

2. アプリの手順に従ってください。

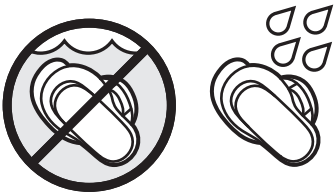
イヤホンを既存のアカウントに追加する

Bose QuietComfort Earbuds IIを追加するには、Bose Musicアプリを開いてイヤホンを追加します。

イヤホンはIPX4（生活防水）規格に適合しており、汗や悪天候の影響を受けにくいように設計されていますが、水に浸かった状態における防水性能はありません。

注意:

- イヤホンを装着したまま泳いだりシャワーを浴びたりしないでください。
- イヤホンを水に沈めないでください。



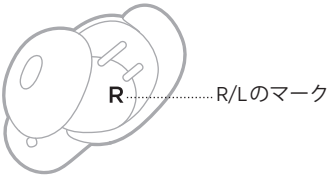
注:

- 腐食を防ぐために、イヤホンの充電用接点を乾いた柔らかい綿棒や同等品で定期的に清掃してください。
- IPX4は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能が低下する場合があります。

イヤホンを装着する

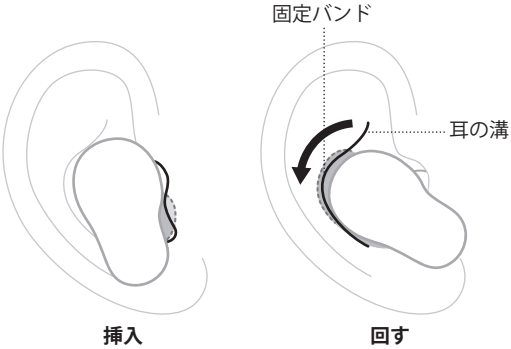
1. イヤーチップが耳にやさしく収まるようにイヤホンを耳に差し込みます。

   注: イヤホンにはそれぞれ、**R**(右)または**L**(左)のマークが付いています。



2. イヤホンを少し後ろに回して、イヤーチップを耳の入り口にフィットさせ、固定バンドが耳の溝に収まるようにして、快適な状態で耳をふさぎます。

   注: イヤーチップが快適な状態でしっかりと耳をふさぐようにするには、イヤホンを前後に回転させる必要があるかもしれません。ただし、前後に回しすぎると、イヤホンやマイクの音質が損なわれる場合があります。



3. フィット状態をチェックします(17ページを参照)。

4. 手順1から3を繰り返して、もう1個のイヤホンも装着します。

   イヤホンを挿入すると、最高の音響性能とノイズキャンセリング効果を実現するように、耳に合わせてオーディオが調整されます。

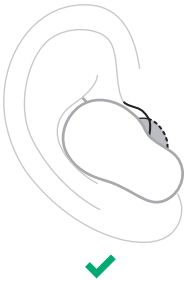
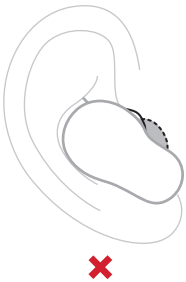
   注: イヤホンをほかの人と共有する場合は、充電ケースに入れて、各ユーザー向けにパーソナライズされたオーディオ設定を消去してください。

フィット状態をチェックする

最高のフィット感と音響性能を実現し、ノイズキャンセリング効果を最大にするため、鏡を使って、使用しているイヤーチップと固定バンドのサイズが適切かどうか確認してください。左右の耳で異なるサイズのイヤーチップや固定バンドを試す必要があるかもしれません。

ヒント: また、Bose Musicアプリの「イヤーチップ装着テスト」でフィット状態をチェックすることもできます。このオプションは設定メニューから設定できます。

イヤーチップ

サイズを選ぶ	チェック方法	
適切なフィット		イヤーチップは耳にやさしく収まり、快適な状態でしっかりと耳をふさいでいます。周囲のノイズがこもって聞こえるはずです。 **注:** ノイズキャンセル機能により、こもったノイズが聞こえにくくなる場合があります。
圧迫が強すぎる		イヤーチップが耳の入り口でつぶれているような違和感があります。
ゆるすぎる		イヤーチップが耳の穴に深く入ってゆるく感じ、頭を動かしたときに抜けてしまいます。

固定バンド

サイズを選ぶ	チェック方法	
適切なフィット		バンドが突き出たり、耳の溝で押しつぶされたりしていません。
大きすぎる		バンドが突き出たり、耳の溝で押しつぶされたりしています。
小さすぎる		バンドが耳の溝に届いていません。

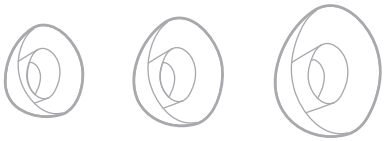
別のサイズを試す

イヤホンを長時間装着してみます。イヤホンが耳にぴったりとフィットしていない場合や、音質が期待どおりでない場合は、別のサイズのイヤーチップや固定バンドを試してみてください。

イヤーチップやバンドは、3つのサイズをすべて試すか、左右で異なるサイズを使うことが必要になる場合もあります。

イヤーチップ

イヤーチップは、S、M、Lの3種類が用意されています。



Mサイズのイヤーチップはイヤホンに取り付けられています。小さすぎると感じる場合は、Lサイズのイヤーチップをお試しください。大きすぎると感じる場合は、Sサイズのイヤーチップをお試しください。

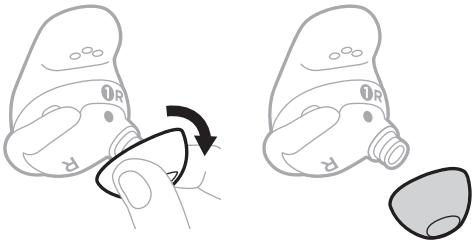
固定バンド

固定バンドには、サイズ**1**(S)、**2**(M)、**3**(L)のマークと、**R**(右)または**L**(左)のマークがついています。

サイズ1のバンドはイヤホンに取り付けられています。小さすぎると感じる場合は、サイズ2のバンドをお試しください。

イヤーチップを交換する

1. イヤホンを持ち、イヤーチップをやさしく押しつぶして、剥がすようにしてイヤホンから取り外します。

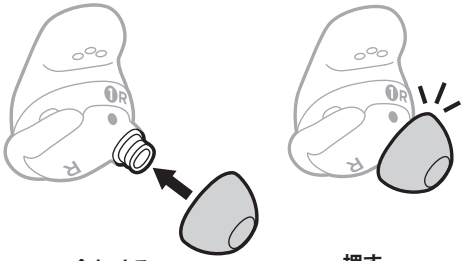


ひねって剥がす　　取り外す

注意: 縁を引っ張って、イヤーチップを破かないようにしてください。

2. 新しいイヤーチップのサイズを選択します(19ページを参照)。

3. イヤーチップとイヤホンのノズルを合わせ、パチッという音がするまでノズルをイヤーチップに押し込みます。



合わせる　　押す

4. 必要に応じて、もう一方のイヤホンでも手順1 ～ 3を繰り返します。

注: 左右の耳で異なるサイズのイヤーチップが必要な場合もあります。

5. イヤホンを装着します(16ページを参照)。

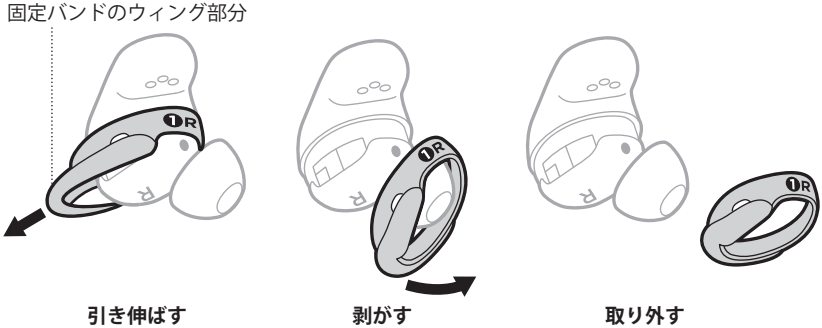
6. フィット状態をチェックします(17ページを参照)。

注:

- イヤーチップを交換した場合は、固定バンドが耳の溝に収まって快適な状態で耳をふさぐように、固定バンドを交換する必要があるかもしれません(21ページを参照)。
- イヤーチップの交換に関する解説ビデオは次のサイトをご参照ください。support.Bose.com/QCEii
- 別のサイズのイヤーチップが必要な場合は、Boseカスタマーサービスに問い合わせるか、次のサイトをご参照ください。support.Bose.com/QCEii

固定バンドを交換する

1. イヤホン本体を持ち、固定バンドのウィング部分をそっとつまみ、バンドを手前に剥がしてイヤーチップから抜き取り、イヤホン本体から取り外します。



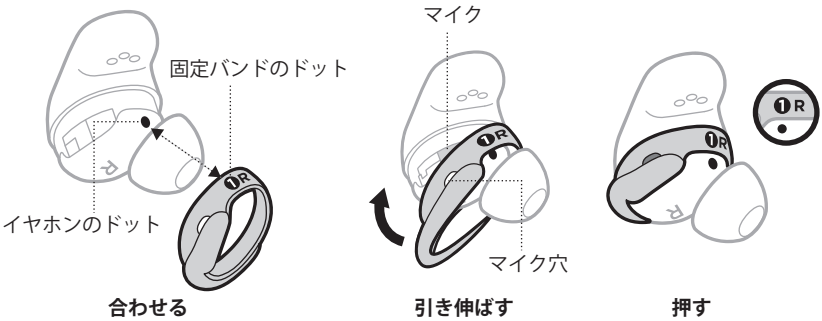
注意： 薄い部分を引っ張って、バンドを破かないようにしてください。

2. 新しいバンドのサイズを選択します(19ページを参照)。

3. バンドのマークを手前に、ウィング部分を向こう側に向け、バンドのドットをイヤホンのグレーのドットの下に合わせます。

4. バンドを静かに伸ばしてイヤホンにかぶせます。ドットの位置を合わせて、バンドのマイク穴がイヤホンのマイクの上に来るようにし、マイクが塞がれないようにしてください。

5. バンドがしっかりと収まるまで押し込みます。



6. 必要に応じて、もう一方のイヤホンでも手順1 〜 5を繰り返します。

   注: 左右の耳で異なるサイズのバンドが必要な場合もあります。

7. イヤホンを装着します(16ページを参照)。

8. フィット状態をチェックします(17ページを参照)。

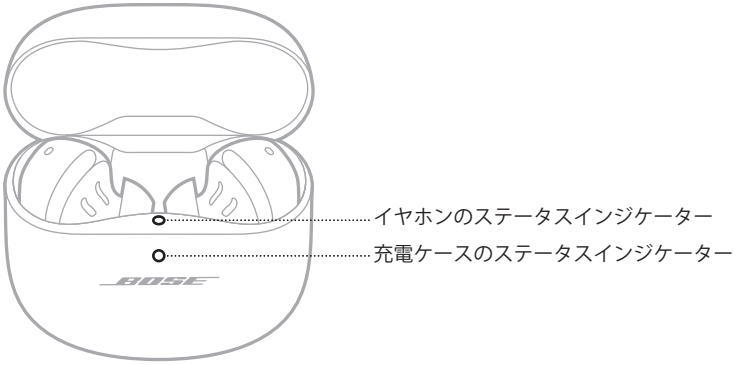
注:

- バンドの交換に関する解説ビデオは次のサイトをご参照ください。
  support.Bose.com/QCEii
- 別のサイズの固定バンドが必要な場合は、Boseカスタマーサービスに問い合わせるか、次のサイトをご参照ください。support.Bose.com/QCEii

電源オン

充電ケースを開きます。

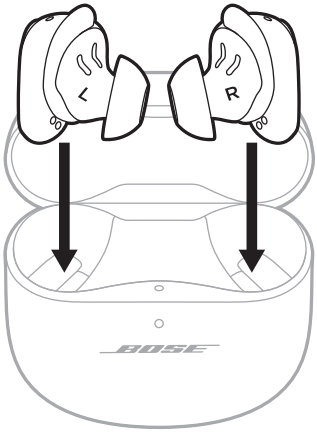
イヤホンの電源がオンになります。イヤホンステータスインジケーターが白く点滅した後、充電状態に応じて点灯します(36ページを参照)。現在の充電状態に応じて、充電ケースのステータスインジケーターが点灯します(37ページを参照)。



注: 充電ケースからイヤホンを取り出すときは、バッテリーの寿命を保ち、ケースにごみが入らないように、ケースを閉じてください。

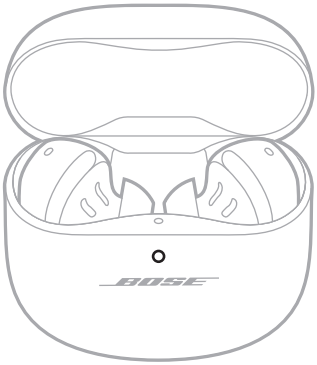
電源オフ

1. 両方のイヤホンを充電ケースに入れます。



2. ケースを閉じます。

   イヤホンの電源がオフになります。現在の充電状態に応じて、充電ケースのステータスインジケーターが点灯します(37ページを参照)。



注: イヤホンをケースに入れると、イヤホンとお使いの機器の接続が解除されます。

スタンバイ

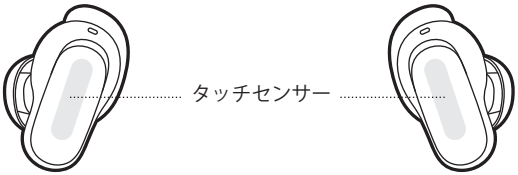
イヤホンをケースから取り出して使用されない状態が続くと、スタンバイ機能が働き、イヤホンのバッテリーの消耗が抑えられます。イヤホンを耳から外して10分ほど経過すると、イヤホンがスタンバイ状態になります。

イヤホンをスタンバイ状態から復帰するには、イヤホンを耳に装着します。

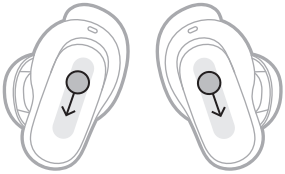
タッチコントロールを使用するには、左右どちらかのイヤホンのタッチセンサーをタップまたはスワイプします。タッチコントロールでは、音楽の再生/一時停止、音量の調節、基本的な通話機能、ノイズキャンセリング機能の調整、ショートカットの使用などを行えます(28ページを参照)。

タッチセンサーの場所

タッチセンサーは左右のイヤホンの外側にあります。タッチセンサーを使用して、メディアの再生、音量調節、通話機能、ノイズキャンセリング機能、ショートカット機能を操作できます。



メディアの再生と音量調節

コントロール	操作方法	
再生/一時停止	イヤホンをタップします。	
音量を上げる	イヤホンを上にスワイプします。	
音量を下げる	イヤホンを下にスワイプします。	

コントロール	操作方法
次のトラックへ送る	イヤホンを続けて2回タップします。
前のトラックへ戻す	イヤホンを続けて3回タップします。

通話

コントロール	操作方法
着信に応答する	イヤホンをタップします。
終話する/着信を拒否する	イヤホンを続けて2回タップします。
通話中の相手を保留にして割込み着信に応答する	イヤホンをタップします。

コントロール	操作方法	
割込み着信を拒否して、現在の通話を続ける	イヤホンを続けて2回タップします。	

着信の通知

音声ガイドで、着信の発信元と通話の状態を通知します。

着信の通知を停止するには、Bose Musicアプリを使用して音声ガイドを無効にします。このオプションは設定メニューから設定できます。

ノイズキャンセリング

ノイズキャンセリングモードについては、31ページをご覧ください。

モバイル機器の音声コントロール

ショートカットを設定することで、イヤホンを使ってモバイル機器の音声コントロールにすばやくアクセスできます。イヤホンに内蔵されているマイクがモバイル機器の外部マイクとして機能します。

注: イヤホンを使ってモバイル機器の音声コントロールを操作するには、ショートカットに設定する必要があります(28ページを参照)。

コントロール	操作方法	
モバイル機器の音声コントロール機能を使用する	ビープ音が聞こえるまで、イヤホンを長押しします。放してから、リクエストを言います。	
モバイル機器の音声コントロール機能を停止する	イヤホンをタップします。	

ショートカット

ショートカットを使用して、以下の機能にすばやく簡単にアクセスすることができます。

- ノイズキャンセリングモードを順に切り替える
- モバイル機器の音声コントロール機能を使用する

注: デフォルトでは、両方のイヤホンでノイズキャンセリングモードの切り替えが有効になっています。

ショートカットを使用する

ショートカットを使用するには、イヤホンを長押しします。

ショートカットを変更する、無効にする

ショートカットの変更、無効化、左右のイヤホンへの異なるショートカットの割り当てには、Bose Musicアプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

注: 左右のイヤホンに異なるショートカットを割り当てた場合は、割り当てた方のイヤホンを長押しする必要があります。どちらかのイヤホンを耳から外した場合、耳に装着している方のイヤホンに割り当てられたショートカットのみが使用できます。

装着検知では、センサーを使用して、両方または片方のイヤホンを装着していることを識別します。

右イヤホンを装着したり外したりすることで、音楽の再生/一時停止の切り替え、着信への応答(有効な場合)、ノイズキャンセリング機能の調整が可能です。

注: 装着検出機能を管理するには、Bose Musicアプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

自動再生/停止

片方のイヤホンを外すと、両方のイヤホンで音楽の再生が一時停止します。

再生を再開するには、イヤホンをもう一度装着します。

注: イヤホンを片方だけ使用する場合は、耳に装着している方のイヤホンをタップして音楽を再開することができます。

着信自動応答

イヤホンを装着して電話に出ることができます。

注: この機能を有効にするには、Bose Musicアプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

ノイズキャンセリングの自動オフ機能

片方のイヤホンを外すと、もう片方のノイズキャンセリングモードは「Awareモード」になります(30ページを参照)。

イヤホンを装着し直すと、耳に装着したイヤホンが以前のノイズキャンセリングレベルに調整されます。

注: イヤホンを片方だけ使用する場合は、ショートカットを使ってノイズキャンセリングモードを順に切り替えて、適切なモードを選択することができます。

ノイズキャンセリングで周囲の不要なノイズを抑制することにより、よりクリアで臨場感のあるサウンドを再生できます。ノイズキャンセリングモードは、設定済みの「Quietモード」と「Awareモード」の2種類から選択でき、さらに自分で最大2つのカスタムモードを作成することもできます。

Quietモードでは、最高レベルのノイズキャンセリング機能により、不快なノイズを遮断できます。

Awareモードではノイズキャンセリングが最も弱い状態になり、音楽を楽しみながら周囲の音を聞くことができます。

また、Awareモードには、突然の大きな音を抑えるActiveSense™テクノロジーが搭載されています。

音の好みと環境に合わせてノイズキャンセリングモードを選択してください。

ノイズキャンセリングモード

モード	説明
Quiet	最高クラスのノイズキャンセリングレベルでBoseサウンドを楽しめます。
Aware	音楽を楽しみながら周囲の音を聞くことができます。
カスタム	音の好みや環境に合わせて、ノイズキャンセリングレベルを（最大レベルから最小レベルの間で）カスタマイズできます。 **注:** 最大で2つのモードを作成できます。カスタムモードの作成には、Bose Musicアプリを使用します。このオプションはメイン画面から設定できます。

注: デフォルトでは、電源をオンにするとイヤホンはQuietモードになります。電源をオンにしたときにイヤホンが最後に使用したモードになるように設定するには、Bose Musicアプリを使用します。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「モード」をタップします。

ActiveSense™ Awareモード

ActiveSense™テクノロジーを採用したAwareモードのダイナミックなノイズキャンセリング機能により、不要なノイズを抑えながら周囲の音を聞くことができます。

ActiveSense™ Awareモードでは、突然の音や大きな音が近くで発生したときに、イヤホンで自動的にノイズキャンセリング機能がオンになります。ノイズが止まると、ノイズキャンセリング機能は自動的に再びオフになります。

注: ActiveSense™を無効にするには、Bose Musicアプリを使用します。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「モード」をタップして、次に「Aware」をタップします。

ノイズキャンセリングモードを切り替える

ノイズキャンセリングモードを順に切り替えるには、イヤホンを長押しします。

選択したノイズキャンセリングモードを知らせる音声ガイドが流れます。

注: イヤホンを使ってノイズキャンセリングモードを切り替えるには、ショートカットに設定する必要があります(28ページを参照)。

ヒント: ノイズキャンセリングモードは、Bose Musicアプリを使用して変更することもできます。このオプションはメイン画面から設定できます。

通話中のノイズキャンセリング機能について

電話が着信すると、イヤホンのノイズキャンセリングモードはそのときの設定が継続され、セルフボイスがオンになります。セルフボイスにより、自分の声が聞こえることでより自然に話すことができます。

通話中にノイズキャンセリングモードを調整するには、イヤホンを長押しします。

注:

- 通話中はノイズキャンセリングの自動オフ機能は無効になります(29ページを参照)。
- セルフボイスを調整するには、Bose Musicアプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

ノイズキャンセリング機能のみを使用する

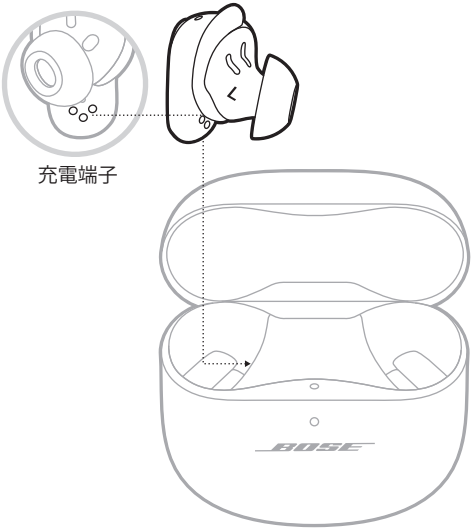
音楽や通話に妨げられることなく、ノイズキャンセリング機能のみを使用することができます。

1. 次のいずれかを実行します。
   - イヤホンを装着している場合は、モバイル機器の接続を解除します(39ページを参照)。
   - イヤホンが充電ケースに入っている場合は、モバイル機器の*Bluetooth*機能をオフにしてから、イヤホンをケースから取り出します。
2. イヤホンを長押しすると、ノイズキャンセリングモードが切り替わります(「ノイズキャンセリングモードを切り替える」を参照)。

注: モバイル機器を再接続するには、機器の*Bluetooth*リストからイヤホンを選択します。

イヤホンを充電する

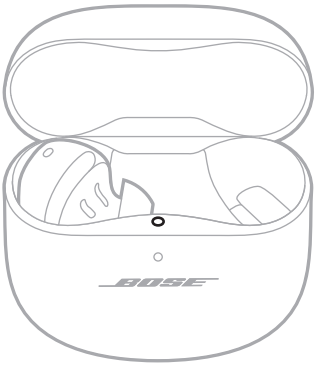
1. 左イヤホンの接点を充電ケース左側の充電端子の位置に合わせます。



注: 充電の前に、室温が8℃ ～ 39℃の範囲内であることを確認してください。

2. イヤホンをケースに入れると、磁石の力で定位置に収まります。

   イヤホンステータスインジケーターが白く点滅した後、充電状態に応じて点灯します(36ページを参照)。



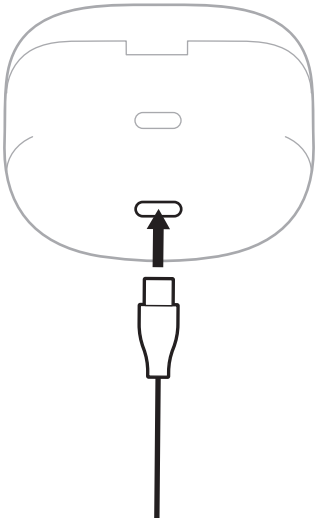
3. 手順1と2を繰り返して、右イヤホンも充電します。

注: イヤホンは、ケースが開いていても閉じていても充電されます。

充電ケースを充電する

注意： この製品には、法令(UL、CSA、VDE、CCCなど)に準拠したLPS電源アダプターのみをお使いください。

1. USBケーブルの小さい方のプラグを充電ケースの底面にあるUSB-Cポートに接続します。



2. もう一方のプラグをUSB-Aウォールチャージャー(別売)またはパソコンに接続します。

   充電ケースのステータスインジケーターがオレンジ色に点灯します(37ページを参照)。

   注： 充電の前に、室温が8°C ～ 39°Cの範囲内であることを確認してください。

イヤホンの充電状態を確認する

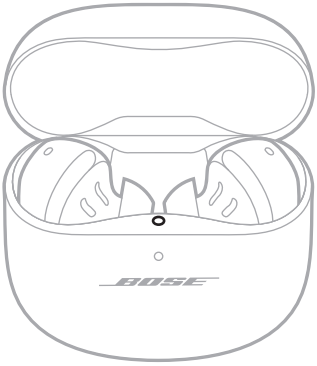
イヤホンの使用中

- 充電ケースからイヤホンを取り出して耳に装着すると、イヤホンのバッテリー残量を知らせる音声ガイドが流れます。
- Bose Musicアプリを使用します。イヤホンのバッテリー残量はメイン画面に表示されます。

注: 片方のイヤホンのバッテリー残量がもう片方のイヤホンより低い場合、音声ガイドは低い方のバッテリー残量を通知します。バッテリー残量が低下すると、「バッテリー残量が低下しています。すぐに充電してください」と聞こえます。

イヤホンの充電中

イヤホンを充電ケースに収納すると、イヤホンのステータスインジケーターが白く点滅した後、充電状態に応じて点灯します(36ページを参照)。

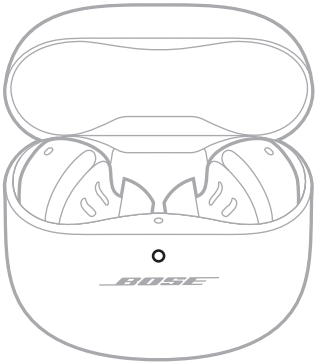


注: 片方のイヤホンのバッテリー残量がもう片方より低い場合、イヤホンのステータスインジケーターは低い方のバッテリー残量を示します。

充電ケースのバッテリー残量を確認する

充電ケースを開きます。

現在の充電状態に応じて、充電ケースのステータスインジケーターが点灯します(37ページを参照)。



充電時間

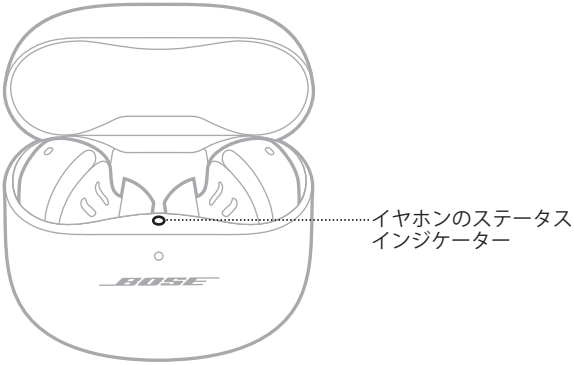
コンポーネント	充電時間
イヤホン	1時間
充電ケース	最大3時間

注:

- イヤホンのバッテリー残量が少なくなった場合、ケースを閉じて20分間急速充電することで、最大2時間使用できます。
- 完全に充電した場合、イヤホンを最大6時間使用できます。バッテリー駆動時間は使用状況により異なります。
- 完全に充電されているケースでは、イヤホンを3回まで充電できます。
- イヤホンがケースに収納されている場合は、ケースの充電時間がこれより長くなることがあります。

イヤホンのステータスインジケーター

イヤホンのステータスインジケーターは、充電ケースの内側表面にあります。



*Bluetooth*の状態

モバイル機器の*Bluetooth*接続の状態を示します。

インジケーターの表示	システムの状態
青の遅い点滅	接続準備完了
青の点灯(5秒間)	接続済み
白の2回点滅	デバイスリストを消去しました

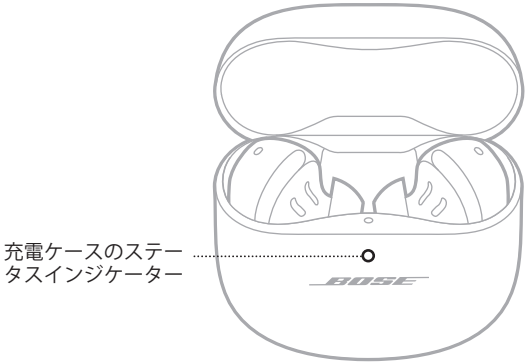
バッテリー、アップデート、エラーの状態

イヤホンのバッテリー、アップデート、エラーの状態を表示します。

インジケーターの表示	システムの状態
白の点滅後、白の点灯(5秒間)	充電完了
白の点滅後、オレンジの点灯(5秒間)	充電中
白の2回点滅、青の遅い点滅、オフ	再起動が完了しました
白の3回点滅(繰り返し)	ソフトウェアアップデート中
オレンジと白の点滅	エラー、Boseカスタマーサービスに連絡してください

充電ケースのステータスインジケーター

充電ケースのステータスインジケーターは、充電ケースの前面にあります。



バッテリー、アップデート、エラーの状態

充電ケースのバッテリー、アップデート、エラーの状態を表示します。

インジケーターの表示	システムの状態
白の点灯	充電完了(100%)、電源接続中
白の点灯(5秒間)	充電済み(34% ～ 99%)
オレンジの点灯(5秒間)	バッテリー残量低下(10% ～ 33%)
オレンジの2回点滅	充電が必要(10%未満)
オレンジの点灯	充電中
白の3回点滅(繰り返し)	ソフトウェアアップデート中
オレンジと白の点滅	エラー、Boseカスタマーサービスに連絡してください

Bluetooth 接続の管理は、Bose Musicアプリまたはモバイル機器の*Bluetooth* メニューで行えます。

BOSE MUSICアプリを使用して接続する

Bose Musicアプリを使用してイヤホンを接続し、*Bluetooth* 設定を管理するには、14ページをご覧ください。

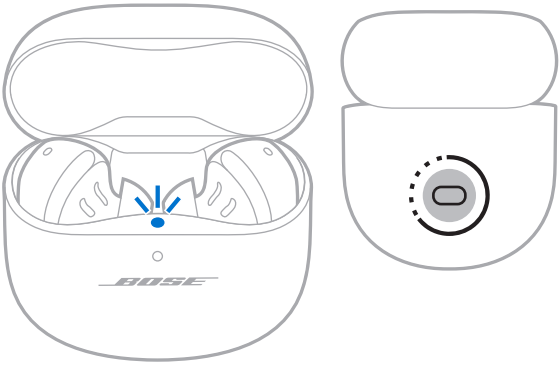
モバイル機器の*BLUETOOTH*メニューを使用して接続する

イヤホンのデバイスリストには、機器を最大6台記憶できます。ただし、一度に接続して音楽を再生できる機器は1台だけです。

注: 最も良い方法は、Bose Musicアプリを使用してモバイル機器を設定し、接続することです(14ページを参照)。

1. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケーターがゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを長押しします。

   注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



2. お使いの機器の*Bluetooth* 機能をオンにします。

   注: 通常、*Bluetooth* 機能は設定メニューにあります。

3. デバイスリストからイヤホンを選択します。

   注: Bose Musicアプリでイヤホンに付けた名前を探してください。イヤホンに名前を付けていない場合は、デフォルトの名前が表示されます。

   モバイル機器のリストにイヤホンの名前が接続済みと表示されます。イヤホンのステータスインジケーターが青に点灯します(36ページを参照)。

モバイル機器の接続を解除する

イヤホンを充電ケースに入れます。

ヒント: Bose Musicアプリまたは*Bluetooth* 設定を使用して機器の接続を解除することもできます。モバイル機器で*Bluetooth* 機能を無効にすると、イヤホンとその他の機器との接続がすべて解除されます。

モバイル機器を再接続する

イヤホンをケースから取り出すと、イヤホンは最後に接続していた機器に接続しようとします。

以前に接続した別の機器に接続する場合は、その機器の*Bluetooth* 設定でイヤホンに接続します。

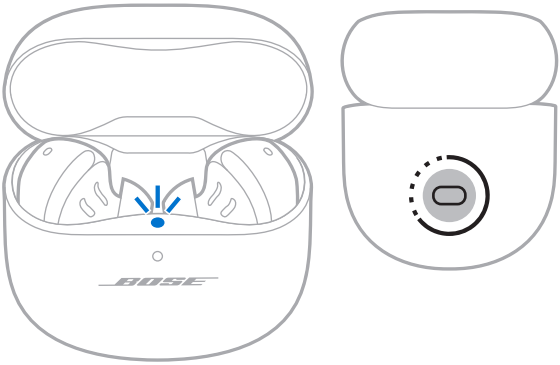
注:

- モバイル機器が通信範囲内(9 m)にあり、電源が入っている必要があります。
- モバイル機器の*Bluetooth* 機能が有効であることを確認します。

イヤホンのデバイスリストを消去する

1. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケーターが白く2回点滅し、その後ゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを15秒間長押しします。

   注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



2. モバイル機器の*Bluetooth*リストからイヤホンを削除します。

   すべての機器が消去され、イヤホンが新しい機器と接続可能な状態になります(14ページを参照)。

イヤホンを保管する

イヤホンを使用しないときは、充電ケースに収納します。バッテリーの寿命を保ち、ケースにごみが入らないように、ケースを閉じてください。

イヤホンと充電ケースのお手入れ

コンポーネント	手順
イヤーチップと固定バンド	イヤーチップとバンドをイヤホンから外します。外したイヤーチップとバンドは水で薄めた中性洗剤で洗ってください。 **注:** イヤーチップとバンドは、イヤホンに取り付ける前に水でよくすすぎ、十分に乾燥させてください。
イヤホンのノズル	乾いた柔らかい布か綿棒などを使って、そっと汚れを拭き取ってください。 **注意:** ノズルの開口部に清掃道具を差し込まないでください。
充電用接点(イヤホン)	腐食を防ぐために、乾いた柔らかい綿棒などで拭いてください。
充電ケース	乾いた柔らかい布か綿棒などを使って、そっと汚れを拭き取ってください。

交換部品とアクセサリー

交換部品とアクセサリーは、ボーズ製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/QCEii

保証

製品保証の詳細はworldwide.Bose.com/Warrantyをご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト(worldwide.Bose.com/ProductRegistration)から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

イヤホンをアップデートする

イヤホンは、Bose Musicアプリに接続してアップデートが利用可能な場合、自動的にアップデートを開始します。アプリの手順に従ってください。

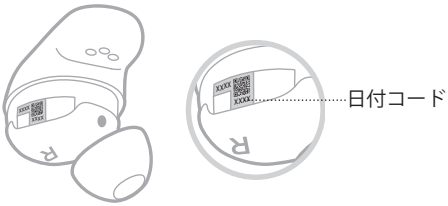
充電ケースをアップデートする

Bose Updater Webサイトを利用して、充電ケースをアップデートします。パソコンでbtu.Bose.comにアクセスして、画面の手順に従ってください。

イヤホンの日付コードを確認する

イヤホンから固定バンドを外します(21ページを参照)。

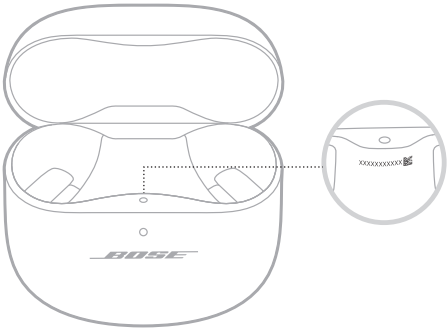
日付コードは、イヤホンのマイク付近の幅広の部分に記載されています。



充電ケースのシリアル番号を確認する

イヤホンを充電ケースから取り出します。

充電ケースのシリアル番号は、ステータスインジケーターの下、イヤホンを収納するくぼみの中に記載されています。



最初にお試しいただくこと

イヤホンに問題が生じた場合は、まず下記の点をご確認ください。

- イヤホンと充電ケースを充電します(32ページを参照)。
- イヤホンの電源をオンにします(23ページを参照)。
- イヤホンのステータスインジケーター (36ページを参照)と充電ケースのステータスインジケーター (37ページを参照)を確認します。
- お使いのモバイル機器が*Bluetooth*接続に対応していることを確認します(38ページを参照)。
- Bose Musicアプリをダウンロードして、入手可能なソフトウェアのアップデートを実行します(14ページを参照)。
- モバイル機器を干渉源や障害物から離して、イヤホンに近づけます(9 m以内)。
- イヤホン、モバイル機器、音楽再生アプリの音量を上げます。
- 別のモバイル機器を接続します(14ページを参照)。

その他の対処方法

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

次のサイトをご参照ください: worldwide.Bose.com/contact

症状	対処方法
イヤホンの電源が入らない	イヤホンがスタンバイモードになっていないか確認します。イヤホンをスタンバイ状態から復帰するには、イヤホンを耳に装着します。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンステータスインジケーターが白く点滅した後、充電状態を示します(36ページを参照)。 イヤホンが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。

症状	対処方法
イヤホンとモバイル機器を接続できない	お使いのモバイル機器での操作: • *Bluetooth*機能をオフにしてから、もう一度オンにします。 • 機器の*Bluetooth*リストからイヤホンを削除します(Low Energy (LE)ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます(14ページを参照)。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンステータスインジケーターが白く点滅した後、充電状態を示します(36ページを参照)。もう一度接続してみます(14ページを参照)。 両方のイヤホンが充電ケースに収納されていることを確認します(32ページを参照)。 イヤホンのデバイスリストを消去します(40ページを参照)。もう一度接続してみます(14ページを参照)。 support.Bose.com/QCEiiにアクセスして、解説ビデオを参照します。 イヤホンと充電ケースを再起動します(51ページを参照)。
アプリでのセットアップ中にイヤホンが反応しない	モバイル機器でBose Musicアプリをアンインストールします。アプリを再インストールします(14ページを参照)。 Bose Musicアプリを使用してセットアップしていることを確認します(14ページを参照)。 モバイル機器の設定メニューで、Bose Musicアプリが*Bluetooth*接続にアクセスできるようになっていることを確認します。 モバイル機器の設定メニューで、*Bluetooth*機能が有効であることを確認します。
Bose Musicアプリでイヤホンを検出できない	モバイル機器でBose Musicアプリをアンインストールします。アプリを再インストールします(14ページを参照)。 モバイル機器の設定メニューで、Bose Musicアプリが*Bluetooth*接続にアクセスできるようになっていることを確認します。 イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケーターがゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを長押しします。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンステータスインジケーターが白く点滅した後、充電状態を示します(36ページを参照)。イヤホンを取り出します。
モバイル機器でBose Musicアプリが動作しない	お使いのモバイル機器がBose Musicアプリに対応しており、システム最小要件を満たしていることを確認します。詳細については、モバイル機器のアプリストアをご参照ください。 モバイル機器でBose Musicアプリをアンインストールします。アプリを再インストールします(14ページを参照)。

症状	対処方法
イヤーチップが耳の穴にフィットしない	イヤーチップが耳の穴の奥に入りすぎていないことを確認します(17ページを参照)。 大きなサイズのイヤーチップを試してみてください。改善されない場合は、小さなサイズのイヤーチップを試してみてください(20ページを参照)。 小さなサイズの固定バンドを試してみてください(21ページを参照)。 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(17ページを参照)。 Bose Musicアプリの「イヤーチップ装着テスト」でフィット状態をチェックします。このオプションは設定メニューから設定できます。 Boseカスタマーサービスに問い合わせて、別のサイズのイヤーチップや固定バンドを入手するか、support.Bose.com/QCEiiにアクセスして、解説ビデオを参照します。
固定バンドが耳の溝にフィットしない	小さなサイズの固定バンドを試してみてください(21ページを参照)。既に一番小さな固定バンドをお使いの場合は、小さなサイズのイヤーチップを試してみてください(20ページを参照)。 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(17ページを参照)。 Bose Musicアプリの「イヤーチップ装着テスト」でフィット状態をチェックします。このオプションは設定メニューから設定できます。 Boseカスタマーサービスに問い合わせて、別のサイズのイヤーチップや固定バンドを入手するか、support.Bose.com/QCEiiにアクセスして、解説ビデオを参照します。
イヤホンが耳にしっかりと収まらない	イヤーチップが耳の穴の入り口にやさしく収まっていることを確認します(16ページを参照)。 大きなサイズの固定バンドを試してみてください(21ページを参照)。 大きなサイズのイヤーチップを試してみてください(20ページを参照)。 Boseカスタマーサービスに問い合わせて、別のサイズのイヤーチップや固定バンドを入手するか、support.Bose.com/QCEiiにアクセスして、解説ビデオを参照します。
イヤーチップが外れる	イヤーチップがイヤホンにしっかりと装着されていることを確認します(20ページを参照)。
固定バンドが外れる	バンドがイヤホンにしっかりと装着されていることを確認します(20ページを参照)。 イヤホン上でバンドが正しい位置にあることを確認します(21ページを参照)。

症状	対処方法
***Bluetooth*接続が途切れる**	イヤホンのデバイスリストを消去します(40ページを参照)。もう一度接続してみます(14ページを参照)。 モバイル機器をイヤホンに近づけます。 イヤホンと充電ケースを再起動します(51ページを参照)。
音が出ない	左右の耳で適切なサイズのイヤーチップと固定バンドを使用していることを確認します(19ページを参照)。 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(17ページを参照)。 Bose Musicアプリの「イヤーチップ装着テスト」でフィット状態をチェックします。このオプションは設定メニューから設定できます。 support.Bose.com/QCEiiにアクセスして、解説ビデオを参照します。 音量が上がっていることを確認します(25ページを参照)。 左右のイヤホンがしっかりと耳に収まっており、後ろに回しすぎていないことを確認します(16ページを参照)。 イヤホンを装着するときは頭をまっすぐにしてください。 モバイル機器の再生ボタンを押して、音楽が再生されていることを確認します。 別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。 モバイル機器に直接保存しているコンテンツを再生します。 モバイル機器を再起動します。 Bose Musicアプリを使用して、装着検出機能を無効にします(29ページを参照)。
片側のイヤホンから音が出ない	左右の耳で適切なサイズのイヤーチップと固定バンドを使用していることを確認します(19ページを参照)。 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(17ページを参照)。 Bose Musicアプリの「イヤーチップ装着テスト」でフィット状態をチェックします。このオプションは設定メニューから設定できます。 support.Bose.com/QCEiiにアクセスして、解説ビデオを参照します。 Bose Musicアプリのソフトウェアが最新であることを確認します(42ページを参照)。 左右のイヤホンがしっかりと耳に収まっており、後ろに回しすぎていないことを確認します(16ページを参照)。 イヤホンを装着するときは頭をまっすぐにしてください。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンステータスインジケーターが白く点滅した後、充電状態を示します(36ページを参照)。イヤホンを取り出します。

症状	対処方法
オーディオとビデオが同期していない	アプリケーションまたは音楽サービスを閉じてから再度開きます。 別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンステータスインジケーターが白く点滅した後、充電状態を示します(36ページを参照)。イヤホンを取り出します。
音質が悪い	鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(17ページを参照)。 Bose Musicアプリの「イヤーチップ装着テスト」でフィット状態をチェックします。このオプションは設定メニューから設定できます。 左右の耳で適切なサイズのイヤーチップと固定バンドを使用していることを確認します(19ページを参照)。 support.Bose.com/QCEiiにアクセスして、解説ビデオを参照します。 Bose Musicアプリを使用してセットアップしていることを確認します(14ページを参照)。 別の曲を試してみてください。 別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。 イヤーチップやイヤホンのノズルの先端にごみなどが詰まっていれば取り除きます。 モバイル機器や音楽再生アプリのオーディオ拡張機能をオフにします。 イヤホンの接続で正しい*Bluetooth*プロファイル(Stereo A2DP)が使用されていることを確認します。お使いのモバイル機器の*Bluetooth*/オーディオ設定メニューで、正しいプロファイルが選択されていることを確認してください。 お使いのモバイル機器での操作: • *Bluetooth*機能をオフにしてから、もう一度オンにします。 • モバイル機器の*Bluetooth*リストからイヤホンを削除します。もう一度接続してみます(14ページを参照)。 イヤホンをほかの人と共有する場合は、充電ケースに入れて、各ユーザー向けにパーソナライズされたオーディオ設定を消去してください。
マイクが音を正常に拾わない	固定バンドが正しい位置に取り付けられ、バンドのマイク穴とイヤホンのマイクの位置が合っていることを確認します(21ページを参照)。 もう一度電話をおかけ直しください。 対応している別の機器で試してみてください。 お使いのモバイル機器での操作: • *Bluetooth*機能をオフにしてから、もう一度オンにします。 • 機器の*Bluetooth*リストからイヤホンを削除します(Low Energy (LE)ラベルの付いた重複項目も含む) (14ページを参照)。

症状	対処方法
ノイズキャンセリングモードを調整できない	両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンステータスインジケーターが白く点滅した後、充電状態を示します(36ページを参照)。イヤホンを取り出します。 ショートカットを特定のイヤホン用にカスタマイズした場合は、正しいイヤホンを長押ししていることを確認します。 「イヤホンのタッチコントロールが反応しない」(49ページ)をご覧ください。 Bose Musicアプリを使用して、ノイズキャンセリングモードを調整します。このオプションはメイン画面から設定できます(14ページを参照)。
ノイズキャンセリング機能の効果が弱い	ActiveSense™が有効であることを確認します(30ページを参照)。 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(17ページを参照)。 Bose Musicアプリの「イヤーチップ装着テスト」でフィット状態をチェックします。このオプションは設定メニューから設定できます。 ノイズキャンセリングモードを確認します(30ページを参照)。 イヤホンを耳から外し、再度装着します。 通話中またはモバイル機器の音声コントロールを使用している場合は、Bose Musicアプリを使用して、セルフボイスを下げるかオフにします(31ページを参照)。 イヤホンをほかの人と共有する場合は、充電ケースに入れて、各ユーザー向けにパーソナライズされたオーディオ設定を消去してください。
通話中に相手の声が聞こえにくい	モバイル機器の音量を上げます。 別のノイズキャンセリングモードを試してみてください(30ページを参照)。
通話中に自分の声が聞こえにくい	Bose Musicアプリを使用してセルフボイスを調整します。このオプションは設定メニューから設定できます。
イヤホンが反応しない	両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンステータスインジケーターが白く点滅した後、充電状態を示します(36ページを参照)。イヤホンを取り出します。 イヤホンと充電ケースを再起動します(51ページを参照)。

症状	対処方法
イヤホンのタッチコントロールが反応しない	タッチセンサー部分を正しくタッチしていることを確認します(25ページを参照)。 指がタッチコントロール部分にしっかり触れていることを確認します(25ページを参照)。 続けてタップする機能の場合は、タップする強さを変えてみます。 指が濡れていないことを確認します。 髪が濡れている場合は、髪がタッチセンサーに触れないようにしてください。 手袋を着用している場合は、手袋を外してからタッチセンサーに触れてください。 Bose Musicアプリを使用して、装着検出機能を無効にします(29ページを参照)。 イヤホンが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。 イヤホンと充電ケースを再起動します(51ページを参照)。
音量を調節できない	Bose Musicアプリを使用して音量調節を有効にしていることを確認します(25ページを参照)。 タッチセンサーを正しい方向にスワイプしていることを確認します(25ページを参照)。 「イヤホンのタッチコントロールが反応しない」をご覧ください。
ショートカットを使用できない	Bose Musicアプリを使用してショートカットが設定されていることを確認します(28ページを参照)。 ショートカットを特定のイヤホン用にカスタマイズした場合は、正しいイヤホンを長押ししていることを確認します。
イヤホンを充電できない	イヤホンが充電ケースに正しく収納されていることを確認します。バッテリーの寿命を保つために、イヤホンを充電している間はケースを閉じてください(32ページを参照)。 イヤホンの充電用接点やケースの充電端子に汚れやごみが付着していないことを確認します。 USBケーブルが充電ケースの端子にしっかりと接続されていることを確認します。 USBケーブルの両端をしっかりと接続し直します。 別のUSBケーブルをお試しください。 別のウォールチャージャーをお試しください。 イヤホンや充電ケースが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。もう一度充電してみます(32ページを参照)。

症状	対処方法
充電ケースを充電できない	USBケーブルが充電ケースの端子にしっかりと接続されていることを確認します。 充電ケースのバッテリーが消耗している場合は、接続されているUSBケーブルの長さが十分であることを確認し、初期充電を行います。ケーブルを外して、充電ケースのステータスインジケーターが消えたら、USBケーブルを接続し直してください。 USBケーブルの両端をしっかりと接続し直します。 別のUSBケーブルをお試しください。 充電ケースが閉じていることを確認します。バッテリーの寿命を保つために、充電中はケースを閉じてください。 別のウォールチャージャーをお試しください。 充電ケースが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。もう一度充電してみます(33ページを参照)。
音声ガイドの言語が正しくない	Bose Musicアプリを使用して音声ガイドの言語を変更します(14ページを参照)。このオプションは設定メニューから設定できます。
着信が通知されない	Bose Musicアプリを使用して音声ガイドを有効にしていることを確認します(14ページを参照)。このオプションは設定メニューから設定できます。 モバイル機器の*Bluetooth*メニューで、イヤホンが連絡先にアクセスできるように設定されていることを確認します。
イヤホンから変な音が聞こえる	イヤホンのノズルが詰まっていないか確認します(20ページを参照)。

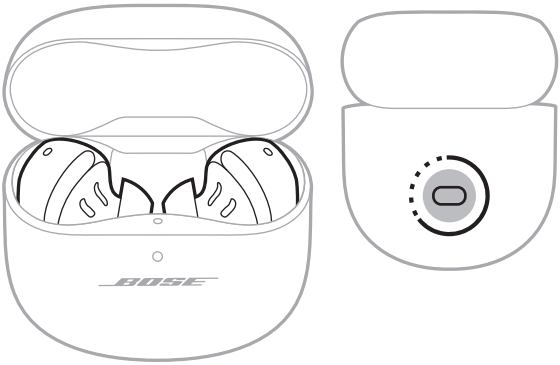
イヤホンと充電ケースを再起動する

イヤホンや充電ケースが反応しない場合は、再起動することができます。

注: イヤホンを再起動すると、イヤホンのデバイスリストが消去されます。他の設定は消去されません。

イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケーターが白く2回点滅してからゆっくりと青く点滅し、その後消灯するまで、ケース背面のボタンを25秒間長押しします。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



再起動が完了すると、充電状態に応じてイヤホンのステータスインジケーターが点灯し(36ページを参照)、バッテリー残量に応じて充電ケースのステータスインジケーターが点灯します(37ページを参照)。

875097-0010

©2022 Bose Corporation, 100 The Mountain Road, Framingham, MA 01701-9168 USA
AM875097-0010 Rev. 02